

平成30年度江東区予算案

～ 主な事業の紹介 ～



スポーツと人情が熱いまち

江東区

誰もが輝くまちへ 未来への種を蒔く予算

本区は、昭和22年3月に「深川区」と「城東区」が合併して誕生し、昨年、区制施行70周年を迎えました。戦後からの復興、台風や集中豪雨による水害やごみ公害など幾多の困難に直面しながらもこれを克服し、現在では住みよさを実感していただけるまちとして発展を続けています。昨年の江東区政世論調査では、本区に「ずっと住みたい（住むつもり）」、「当分は住みたい」と答えた方の割合は92%と、調査開始以来過去最高の定住意向となりました。今後、こどもから高齢者までがいきいきと暮らせる地域社会を目指してまいります。



江東区長 山崎孝明

開催が近づく東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ですが、本区はもっとも多く競技と競技会場（20競技・10会場）を有する自治体として、創意と工夫に満ちたスポーツの振興や本区へ訪れる方へのおもてなしの充実といった取り組みを進めています。また、保育待機児童の解消対策、急速に進む高齢社会への対応、行財政の構造改革など、さまざまな社会経済状況を視野に入れつつ、安定的な財源確保に努め、区民ニーズと時代の変化に対応した施策展開と予算執行に努めているところです。

平成30年度予算は、「誰もが輝くまちへ 未来への種を蒔く予算」として編成し、一般会計の当初予算規模は、1,929億5,200万円で、一般会計と3つの特別会計を合わせた総予算規模は、2,913億2,400万円となりました。平成30年度も「スポーツと人情が熱いまち 江東区」のブランドコンセプトを踏まえた魅力あふれるまちづくりの実現のために、将来を見据えた積極的・戦略的な区政運営に取り組むとともに、区の長期計画における重要課題、「築地市場の豊洲移転整備」と「中央防波堤埋立地の帰属」の解決に向けても、引き続き、区民、区議会、行政が一丸となって取り組んでまいります。

平成30年2月

目 次

I	平成30年度予算案について	1
1	予算編成の基本的な考え方	1
2	予算規模	2
3	主な事業の件数と金額	2
II	重点事業（12項目）	3
III	主な事業の詳細（29項目）	
	※ ◎印は重点事業(12項目)	
	※ ★印はオリンピック・パラリンピック関連(7項目)	
1	防災・まちづくり（4項目）	
◎	1-1 「防災マップ」アプリをリニューアル	9
◎	1-2 ユニバーサルデザイン推進へ障害者の視点で意識啓発を実施	10
★	1-3 区内全域に公共サインを再整備	11
	1-4 北砂三・四・五丁目地区の『まちづくり方針』を策定	12
2	子育て・教育（11項目）	
◎	2-1 有明西学園の開校	15
◎	2-2 認可保育所の整備を推進	16
◎	2-3 定期利用保育事業の実施	17
◎	2-4 児童向け複合施設を新たに整備	18
★	2-5 世界の国旗をオリンピック・パラリンピック教育等に活用	19
	2-6 家庭的保育事業の実施・居宅訪問型保育事業の対象児拡大	20
	2-7 潜在保育士向け就職支援セミナーの実施	21
	2-8 小学校等への外国人講師派遣時間数を拡充	22
	2-9 スクールソーシャルワーカーを増員し、支援体制を強化	23
	2-10 新たに東川小学校を増築	24
	2-11 江東区こども・子育て支援事業計画改定へ意向調査等を実施	25

3 健康・福祉（4項目）

- ◎★ 3-1 障害者スポーツ・アート活動に関する経費を補助・・・・・・・・・・ 27
- ◎ 3-2 がんの夜間相談窓口をマギーズ東京に開設・・・・・・・・・・ 28
- 3-3 単身生活を希望している障害者への入居支援・定着支援・・・・・・・・ 29
- 3-4 住民主体で運営する「通いの場」を拡充・・・・・・・・・・ 30

4 緑・環境（3項目）

- ◎ 4-1 不燃ごみの全量資源化を本格実施・・・・・・・・・・ 33
- 4-2 街路灯、公園・児童遊園灯及び散歩道灯をLED化・・・・・・・・・・ 34
- 4-3 PPPによる若洲公園の整備・管理運営手法を検討・・・・・・・・・・ 35

5 産業・生活（7項目）

- ◎★ 5-1 江東区PRラッピングバスを運行・・・・・・・・・・ 37
- ◎★ 5-2 （仮称）競技体験キャラバン・大会500日前イベントの実施・・・・ 38
- ◎★ 5-3 東京2020パラリンピックに江東区出身のカヌー選手を輩出・・・・ 39
- ★ 5-4 訪日外国人旅行者向け観光情報冊子の充実・・・・・・・・・・ 40
- 5-5 江東ブランドWebサイトの開設・クリエイターを派遣・・・・・・・・ 41
- 5-6 地域の課題を区と協働で解決・・・・・・・・・・ 42
- 5-7 新長期計画の策定準備を開始・・・・・・・・・・ 43

IV 資料編

- 1 歳入・歳出の内訳・・・・・・・・・・ 45
- 2 各項目の推移・・・・・・・・・・ 46
 - 2-1 一般会計（予算規模）の推移・・・・・・・・・・ 46
 - 2-2 歳入（特別区税と特別区交付金）の推移・・・・・・・・・・ 46
 - 2-3 歳出の推移・・・・・・・・・・ 47
 - 2-4 積立基金と特別区債の現在高の推移・・・・・・・・・・ 48
- 3 歳出の抑制・・・・・・・・・・ 49
- 4 区民一人あたりの平成30年度歳出予算額・・・・・・・・・・ 50

I 平成30年度予算案について

誰もが輝くまちへ 未来への種を蒔く予算

強固な財政基盤を構築するとともに、50万人都市としての多様な行政需要への対応、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた準備、その先のレガシー構築を見据えた施策を打ち出し「未来への種を蒔く」ことで、誰もが輝けるまちへ発展させる予算

1 予算編成の基本的な考え方

<目指すもの>

- (1) 50万人都市としての多様な行政需要や、東京2020大会に向けた準備、その先のレガシー構築など、区政課題は日々高度化・複雑化しています。こうした中、区政課題に的確に対応し、未来への財産を残していくため、「江東区長期計画（後期）」で掲げた目標を確実に達成するとともに、柔軟な発想と実効性に富んだ意欲溢れる施策を充実していきます。
- (2) 少数精鋭の体制においても、多様な区政課題に迅速・的確に対応していくためには、事業の優先順位を見定め、その新陳代謝を促進していく必要があります。基礎自治体として担うべき本区の役割を踏まえつつ、事業の必要性や実施効果、経費の妥当性や後年度負担について不断の検証を行い、自律的に事業の見直しを図ることで、地に足付いた施策を展開していきます。
- (3) 景気動向や税制改正等の影響を受けやすい歳入環境にあっても、安定的な行財政運営を行うため、「江東区行財政改革計画（後期）」の着実な実施のほか、職員の創意工夫のもと、多様な歳入確保策を検討・推進し、持続可能で強固な財政基盤を構築していきます。

<将来人口の想定>

江東区長期計画（後期）では、将来人口を次のとおり想定しています。

〔将来人口〕

（単位：千人）

	現 況	推計（平成31年）
人 口 （うち外国人住民数）	513 (28)	521 (24)

（注）現況：住民基本台帳人口（平成30年1月1日現在）

平成31年：推計値（1月1日現在）

※人口には、外国人住民数を含む

<行政評価を予算に反映>

913の事務事業について、目的妥当性、有効性、効率性の観点から行政評価を行い、平成30年度当初予算に反映させました。

2 予算規模

区分	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率 (%)
一般会計	1,929億5,200万円	1,996億4,200万円	△66億9,000万円	△3.4
国民健康 保険会計	542億5,600万円	631億9,900万円	△89億4,300万円	△14.2
介護保険 会計	344億6,600万円	313億9,700万円	30億6,900万円	9.8
後期高齢者 医療会計	96億5,000万円	91億3,100万円	5億1,900万円	5.7
計	2,913億2,400万円	3,033億6,900万円	△120億4,500万円	△4.0

3 主な事業の件数と金額

事業内容		件数	金額
長期計画に定める 主要事業	施設 (ハード事業)	34件	179億5,400万円
	非施設 (ソフト事業)	19件	54億4,700万円
新たな取組み(主要事業を含む)		36件	81億1,300万円
事業の拡充(主要事業を含む)		48件	18億6,300万円

Ⅱ 重点事業（12項目）

※ ★印はオリンピック・パラリンピック関連

1 防災・まちづくり（2項目）

- | | | |
|-------|-----------------------------|----|
| 1 - 1 | 「防災マップ」アプリをリニューアル | 9 |
| 1 - 2 | ユニバーサルデザイン推進へ障害者の視点で意識啓発を実施 | 10 |

2 子育て・教育（4項目）

- | | | |
|-------|----------------|----|
| 2 - 1 | 有明西学園の開校 | 15 |
| 2 - 2 | 認可保育所の整備を推進 | 16 |
| 2 - 3 | 定期利用保育事業の実施 | 17 |
| 2 - 4 | 児童向け複合施設を新たに整備 | 18 |

3 健康・福祉（2項目）

- | | | |
|---------|------------------------|----|
| ★ 3 - 1 | 障害者スポーツ・アート活動に関する経費を補助 | 27 |
| 3 - 2 | がんの夜間相談窓口をマギーズ東京に開設 | 28 |



4 緑・環境（1項目）

- 4 - 1 不燃ごみの全量資源化を本格実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

5 産業・生活（3項目）

- ★ 5 - 1 江東区PRラッピングバスを運行・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- ★ 5 - 2 (仮称)競技体験キャラバン・大会500日前イベントの実施・・・ 38
- ★ 5 - 3 東京2020パラリンピックに江東区出身のカヌー選手を輩出・・・ 39

〔再掲〕

★ オリンピック・パラリンピック関連（4項目）

- 3 - 1 障害者スポーツ・アート活動に関する経費を補助・・・・・・・・ 27
- 5 - 1 江東区PRラッピングバスを運行・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- 5 - 2 (仮称)競技体験キャラバン・大会500日前イベントの実施・・・ 38
- 5 - 3 東京2020パラリンピックに江東区出身のカヌー選手を輩出・・・ 39

Ⅲ 主な事業の詳細

1 防災・まちづくり

帰宅困難者を区内の災害時帰宅支援ステーションへナビゲート
「防災マップ」アプリをリニューアル
 帰宅困難者向けの地図や洪水ハザードマップを追加！

事業の拡充

事業経費

588万円

◆事業内容

- 地震時における区民向けの「防災マップ」アプリ(※1)に、災害時帰宅支援ステーション(※2)や一時滞在施設などを表示した帰宅困難者向けの地図及びナビゲーション機能を追加します。
- 大雨により、荒川が氾濫した場合を想定した浸水区域や避難地区を表示した洪水ハザードマップを追加します。
- 東京都による一部の避難場所の見直しに伴い、防災マップを改定し、「防災マップ」アプリに反映します。

※1 避難所や病院、給水施設などの位置を示した「防災マップ」や、避難方法などの「防災ガイド」を通信環境に関係なく使用できるスマホ用アプリ。平成25年にリリースし、ダウンロード数は15,000件を超える

※2 帰宅困難者の徒歩帰宅を支援するため、水道水やトイレ、ラジオ等で知り得た通行可能な道路情報などを提供する施設(コンビニや飲食店チェーンなどが協力)

◆目的・効果

- GPSによるナビゲーション機能により、迅速かつ冷静な避難行動に繋げることができます。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、増加が見込まれる国内外からの来訪者に対して、迅速な防災情報の提供が可能です。
- 水害発生時の危険性が高まった際の避難方法や避難場所などの情報を事前に提供することで、水害発生前に迅速な避難を促すことができます。

◆「防災マップ」アプリの主な機能

機能	内容
帰宅困難者向け機能(追加)	GPSナビゲーション機能により、区内の災害時帰宅支援ステーションや一時滞在施設などの目的地へ案内
水害対策機能(追加)	洪水ハザードマップ(水害発生時の浸水区域や避難地区を表示した地図)を表示
お知らせ機能	災害情報をお知らせするプッシュ通知
多言語対応	英語・中国語・韓国語



災害時帰宅支援ステーションステッカー



帰宅困難者向け機能画面(イメージ)

◆他区の状況

- 「防災マップ」アプリは、23区中14区(本区含む)で導入済み
- 内5区で帰宅困難者向け機能、9区で水害対策機能導入済み

長期計画の該当項目：施策33 地域防災力の強化

担当課：防災課
 窓口：防災センター4階1番

電話：3647-9587
 内線：6216

全ての人にとって“やさしいまちづくり”を実現！
ユニバーサルデザイン推進へ障害者の視点で意識啓発を実施
 接客研修や商店街への意識啓発でおもてなしの心を広げます♪

事業の拡充	事業経費	71万円
-------	------	------

◆事業内容

- 障害者等が講師となり、金融機関等の窓口職員に対し、ユニバーサルデザイン(UD)の視点に立った接客研修を実施します。
- やさしいまちづくり相談員(※1)や区内在住の障害者により、商店へ買い物時の必要な支援を伝え、UDへの意識啓発を図ります。
- 立場の違う人の困りごとや必要な助けについて、障害者から話を聞き、児童と一緒に考えながらUDについて学ぶ、小学校への「UD出前講座」を継続して実施します。
- 毎年、実施している区民・行政協働のワークショップでは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場が集まる南部地域(豊洲・有明)の「UD観光マップ(※2)」を新たに作ります。

※1 誰もが使いやすく安心して安全なまちづくりのために、区へ意見の提言を依頼している視覚障害者や車イス利用者又はその介助者等
 ※2 ワークショップ参加者のオススメ店や、街中にある休憩所・車イス用の公衆電話の場所、スロープの有無など、様々な立場の人の視点で作成された観光に役立つまちの地図(平成28年3月「門前仲町」・「亀戸」を発行)

◆目的・効果

- より実践的な接客研修により、多様なお客様への窓口対応を身につけることができます。
- 障害者が具体的な支援を、直接商店に伝えることで、障害者の視点に立った区民協働のまちづくりを展開します。
- こどもたちが困っている人を見かけたら、自然に声をかけ手助けできる「心のユニバーサルデザイン」を育みます。
- 「UD観光マップ」の作成にあたり、障害者・高齢者・外国人等とともにまちあるきを行うことで、東京2020大会に向け、区へ訪れた全ての人を使いやすく、楽しめる内容になります。



視覚障害者にはおつりを金種ごとに渡す接客を！



キャッシュカードってデビットカードと何が違うの？

◆UD出前講座開催実績

年度	実施校	受講児童
27	10校	746人
28	17校	1,235人
29	23校	2,088人

◆他区の状況

商店街と金融機関等窓口を対象としたUD意識啓発事業は23区初

長期計画の該当項目：施策30 ユニバーサルデザインのまちづくり

担当課：まちづくり推進課
 窓口：5階23番

電話：3647-9781
 内線：2959

多言語に対応した利用者にとってわかりやすいサインへ

区内全域に公共サインを再整備

情報収集の利便性が高まります

事業の拡充

事業経費

1億4,773万円

◆事業内容

- 平成29年度策定の江東区公共サインガイドライン・整備計画(※)に基づき、現在設置している公共サイン(公共施設等案内板)を順次撤去し、新たな公共サインを設置します。
- 一部の公共サインにフリーWi-Fiなど、利便性の高い機能を整備します。

※ 江東区公共サインガイドライン・整備計画：区が設置する歩行者用公共サインの基本的な考え方・表記基本ルール・標準基本デザイン・掲載情報の諸基準、多機能化対応、維持管理の考え方、区役所内の役割分担などについて取りまとめたもの

◆目的・効果

- 区民や江東区を訪れる人に対して、区内の案内誘導を適切に行うとともに、景観に統一性をもたせます。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催時だけでなく、外国人をはじめとする江東区を訪れる人が安心して区内を歩くことができるようになります。
- 多言語対応(英語・中国語・韓国語)や観光情報を表記することにより、情報収集の利便性を高めます。

◆実施場所

- 亀戸・大島エリア(亀戸駅を基点)
- 深川エリア(門前仲町駅を基点)



現在設置されている公共サイン



新たに設置される公共サイン
(イメージ)

◆スケジュール

平成30年度	亀戸・大島エリア及び深川エリアの整備
平成31年度	区内の駅周辺部の整備(亀戸駅・門前仲町駅を除く)

◆背景

現在、区が設置している公共サインの多くは、設置から約30年経過し、老朽化が進んでいます。また、管理する部署によりデザイン等が異なることや、多言語対応も不十分であるため、デザインや効果的的配置等を踏まえた、より分かりやすい公共サインの整備が必要となっています。

長期計画の該当項目：施策17 コミュニティの活性化

担当課：地域振興課
窓口：4階26番

電話：3647-4962
内線：2413

燃えない・燃え広がらないまちづくりを推進
北砂三・四・五丁目地区の『まちづくり方針』を策定
 地元住民と協働して地区内のまちづくりを進めます！

新たな取組み

事業経費

2,599万円

◆事業内容

- 不燃化特区(北砂三・四・五丁目地区)において、“燃えない・燃え広がらないまちづくり”のため、行政計画としての「まちづくり方針」を策定します。
- 策定した方針に基づき、地区計画等によるまちづくりのルールを検討します。

◆背景

- 平成29年9月、地元住民が組織する「北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会」(※)より、まちの将来像とそれを実現するため、“道路・公園等”、“土地・建物”、“コミュニティ・まちの活性化”をテーマとした「まちづくり提案」が提出されました。
- まちづくり提案を受け、まちづくり方針を策定し、地区計画をはじめとした、更なる不燃化に向けた取組みを実施していきます。

※ 平成28年10月に設立。公募により集まったまちづくりに関心のある住民を中心に構成されており、現在24名で活動

◆まちづくり方針に位置付ける主な事項(予定)

- 地区計画等によるまちづくりのルール化
- 道路拡幅等による道路ネットワークの構築
- 公園(広場)等の整備による、防災に資する空地の確保



地元住民による「まちづくり提案」の様子

◆地区計画により目指す主な効果

- 最低限敷地の制限によるミニ開発や土地の細分化の防止
- 建築物の壁面線制限による道路状空間の確保
- 建築物の形態や高さの制限および緩和による景観及び防災性の向上
- 垣または柵の形態制限による安全性の向上



地区計画によるまちなみ形成イメージ

◆スケジュール

平成30年 3月	まちづくり方針(素案)の策定
4~5月	まちづくり方針(素案)に対する意見照会
6~10月	まちづくり方針の策定→地区計画の検討開始
平成31年度以降	まちづくり方針に基づく、取組みを開始

長期計画の該当項目：施策32 災害に強い都市の形成

担当課：地域整備課
 窓口：5階22番

電話：3647-9491
 内線：2984

2 子育て・教育

区内初！小中一貫教育を行う義務教育学校

有明西学園の開校

教科担任制や英語・ICT教育の充実など、特色ある教育活動を展開

新たな取り組み**事業経費**

教科担任制講師配置事業

149万円

小・中学校コンピューター教育推進事業 3,383万円

◆事業内容

- 区内初となる小中一貫教育を行う義務教育学校「有明西学園」が平成30年4月に開校します。有明西学園は、9年間の学びの充実と社会に開かれた学校を目指します。
- 校舎は地場産業である木材を多用し、内外装の木質化に加え、一部を木構造としました。
- 前期課程(※) 5～6年生において、独自に講師を任用し、教科担任制を実施します。
- 区の国際交流員を活用した英語教育の充実や電子黒板等を活用した学校ICTの推進など、特色ある教育活動を展開します。

※ 小学校段階に相当する6年間は前期課程、中学校段階に相当する3年間は後期課程

◆有明西学園の概要

所在地	有明一丁目7番13号
面積・構造	(敷地)約20,185㎡ (延床)約24,500㎡ 地上5階建(一部木構造、施設一体型)
教室等	普通教室48学級、特別教室、プール×2、屋内運動場×2、特別支援教室、江東きっずクラブ(※)
主な特色	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9年間を見通した目標設定 ○ 5年生からの教科担任制(理科、外国語活動等) ○ 英語教育の充実(区の国際交流員を活用し、英語に触れる機会を創出) ○ 学校ICTの推進(全普通教室・特別支援学級に電子黒板を常設) ○ 前期課程から標準服を導入 ○ 前期課程から部活動への参加が可能 ○ 学年を超えた交流活動(日常生活や学校行事など)

◆他区の状況

義務教育学校の設置は品川区に続き2例目

※ 学校施設などを活用し、放課後等に児童が安全で安心して過ごすことのできる居場所・生活の場

有明西学園 完成イメージ



長期計画の該当項目：施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課：学校支援課・学務課・指導室

窓口：6階3番・6階2番・6階4番

電話：【学校支援】3647-9307 【学務】3647-9176
【指導室】3647-9179内線：【学校支援】3393 【学務】3334
【指導室】3386

安心してこどもを産み育てられるまちを目指して

認可保育所の整備を推進

区有地を活用し大規模保育所を整備！

新たな取組み

事業経費

28億4,088万円

◆事業内容

- 保育需要へ迅速に対処するため、民設民営による保育施設の整備などにより、約1,000人の認可保育所定員の増を図ります。
- 平成31年開設に向け、区有地である旧深川清掃事務所跡地に大規模な認可保育所を整備します。

開設時期	所在地	定員数	備考
平成31年4月	計画中	計約1,000人	平成31年4月の開設に向け、認可保育所を整備 ※ 開設場所、施設数(定員)については、保育需要の状況等に応じて決定

◆旧深川清掃事務所跡地における整備計画概要

区有地である旧深川清掃事務所跡地を活用し、白河地区に大規模認可保育所を整備します。

<施設概要>

所在地 白河4丁目

定員 170人

<整備スケジュール>

平成30年3月 旧深川清掃事務所の解体完了

平成30年6月 本体工事着工

平成31年4月 開設(予定)



旧深川清掃事務所



整備する保育所室内(イメージ)

◆平成29年度整備実績(平成30年度開設予定)

施設	定員数	備考
MIWA木場公園保育園	130人	国家戦略特区を活用した都市公園(木場公園)内での保育所整備
小規模保育事業所 6園	111人	待機児童対策として0~2歳対象の小規模保育事業所を緊急整備

この他、平成30年度中に開設する施設や既存施設の定員変更を含め、900人を超える認可保育所定員の増を図りました。

長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育計画課
窓口：3階12番奥

電話：3647-9638
内線：2791

待機児童解消のための緊急対策

定期利用保育事業の実施

認可保育所の空きスペース等を活用して1～2歳児の保育を実施

新たな取組み

事業経費

7,166万円

◆事業内容

認可保育所等を入所待機となった1～2歳児を対象に、区立保育所の延長保育室や私立保育所の空きスペース等を活用し、当該年度に限り保育を行う「定期利用保育」を実施します。

◆目的

施設整備による待機児童対策を補完する緊急対策として、区立保育所の延長保育室や、新規開設の私立保育所で4～5歳児クラスの欠員が生じた保育室等を活用し、待機児童の積極的な解消を図ります。

◆事業概要

	区立保育所	私立保育所
実施場所	塩崎保育園	平成30年度新規開設私立保育所 ※ 実施する保育所は、施設環境や欠員状況により決定
対象児童	認可保育所等を入所待機となった2歳児	認可保育所等を入所待機となった1～2歳児
利用可能人数	45名(区立及び私立保育所合計)	
保育時間	月曜日から土曜日の 午前9時から午後5時まで	保育所開所時間中における11時間以内
保育料 (月額)	8時間以内利用:44,000円 8時間超11時間以内利用:53,000円(区立保育所は対象外) ※ 認可外保育施設保護者負担軽減事業(※)の補助対象事業となります。	

※ 保育料の負担を軽減するため、保護者の市区町村民税額に応じて、補助を行う事業

◆他区の状況

23区中10区で実施



長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育課

窓口：3階12番

電話：3647-9084

内線：2725

子ども家庭支援センターとこどもとしょかんの機能を有する複合施設

児童向け複合施設を新たに整備

児童会館敷地を有効活用し、特別養護老人ホーム等も整備

新たな取り組み

事業経費	児童向け複合施設整備事業	
	30年度	3,506万円
	総事業費	22億3,575万円

◆事業内容

- 児童会館の敷地を活用して、子ども家庭支援センターとこどもとしょかんの機能を有する、こどもや子育て家庭を対象とした複合施設を整備します。
- 同敷地の一部を活用し、民設民営による特別養護老人ホーム等を整備します。

◆目的

- これまで児童会館が有してきた役割を踏まえつつ、子ども家庭支援センターとこどもとしょかんを一体的に整備することにより、こどもの健やかな成長を地域とともに継続的に見守り、総合的に支援できる環境を構築します。
- 高齢者が住みなれた地域で必要な施設サービスを受けられる環境を整備するとともに、地域交流スペースの設置により、地域住民が気軽に利用できるコミュニティの拠点を整備します。

◆整備計画

児童向け複合施設	
所在地等	住吉一丁目9番 [敷地面積(現況)] 4,035㎡
面積	[児童向け複合施設敷地] 約1,125㎡
施設内容	子ども家庭支援センター(多目的スペース含む) こどもとしょかん
運営	指定管理者(予定)
スケジュール	平成30～31年度 基本・実施設計 平成31～33年度 解体・新築工事 平成34年度 施設運営開始

※ 同敷地の一部(約2,910㎡)を活用し、地域交流スペース等を併設した特別養護老人ホームを民設民営により整備

長期計画の該当項目：施策7 子育て家庭への支援 等

担当課：子育て支援課・長寿応援課・江東図書館
窓口：3階15番・3階8番

電話：【子育て】3647-4408 【長寿】3647-4331
【図書館】3640-3154
内線：【子育て】2783 【長寿】2614

国旗を通じて国際理解を促進

世界の国旗をオリンピック・パラリンピック教育等に活用

世界の国旗を使用して公共施設の外壁をデコレーション！

新たな取り組み

事業経費

275万円

◆事業内容

「江東区オリンピック・パラリンピック教育推進計画」に基づく独自の教育活動や東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントなどにおいて、世界の国旗(約200の国や地域、主なサイズ 70cm×105cm)を活用し、気運醸成や国際理解の促進を図ります。

◆主な活用例

オリンピック・パラリンピック教育

- 全区立小・中学校等で取り組んでいる「世界ともだちプロジェクト」(※1)の学習に活用
- 全区立小・中学校等で行っている「世界の国旗・国歌について学ぼう」(※2)の講演時に活用
- 世界のオリンピック・パラリンピアンとの交流時に活用

イベントなど

- 有明西学園などの公共施設での外壁デコレーションに活用
- 東京2020大会500日前イベントや江東区民まつりなどで活用

※1 世界ともだちプロジェクト:東京2020大会参加予定国や地域について、こどもたちが主体的に調べる活動や体験、交流する活動で、各小学校等で5か国、各中学校等で10か国を担当

※2 世界の国旗・国歌について学ぼう:世界の国旗の専門家(吹浦忠正氏)とプロのソプラノ歌手(新藤昌子氏)による「世界の国旗・国歌」をテーマにした講演を通じ、世界ともだちプロジェクトで担当する国の国旗・国歌等について学習(対象:小学4~6年生、中学1~3年生)



「世界の国旗・国歌について学ぼう」講演の様子



江東区民まつり中央まつりの様子

長期計画の該当項目：施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課：指導室
窓口：6階4番

電話：3647-9179
内線：3386

待機児童解消のための緊急対策

家庭的保育事業の実施・居宅訪問型保育事業の対象児拡大

家庭的な環境の中で0～2歳児の保育を実施

新たな取組み

事業経費	地域型保育扶助事業	1億8,978万円
	地域型保育補助事業	5,036万円

◆事業内容

待機児童解消のための緊急対策として、保育施設運営事業者が借り上げたマンション等で乳幼児を保育する「家庭的保育事業」を開始するとともに、「居宅訪問型保育事業」の利用対象を、従来から対象である障害、疾病等により集団生活が困難な乳幼児に加え、認可保育所等の入所が“待機”となった乳幼児に拡大します。

◆背景・特色

- 施設整備による待機児童対策を補完する緊急対策として、家庭的保育事業の実施、居宅訪問型保育事業の対象児の拡大により、0～2歳児が9割を占める待機児童の積極的な解消を図ります。
- マンションの1室や乳幼児の自宅等の家庭的な環境の中で、一人ひとりの乳幼児に合わせたきめ細やかな保育が可能です。

◆事業概要

	家庭的保育事業	居宅訪問型保育事業(待機児童対策)
利用可能人数	15名	18名
対象児童	0～2歳児	認可保育所等を入所待機となった0～2歳児
職員配置基準	乳幼児5人に対して、保育従事者2人	乳幼児1人に対して、保育従事者1人
保育実施場所	事業者が借り上げたマンション等	乳幼児の自宅
開設	平成30年4月から	

◆他区の状況

- 家庭的保育事業:23区中14区で実施
- 居宅訪問型保育事業(待機児童対策):23区中4区で実施



長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育課
窓口：3階12番

電話：3647-9084
内線：2725

潜在保育士の就職を支援
潜在保育士向け就職支援セミナーの実施
 保育人材確保により児童の受入体制を強化！

事業の拡充

事業経費

87万円

◆事業内容

区内の潜在保育士(※)の就職を後押しするため、保育に関する講義及び区内認可保育所で現場実習を実施します。

※ 保育士資格を有しながら、保育施設勤務から長期間離職している人、または保育施設勤務未経験の人

◆目的

最新の保育技術や知識など、保育の仕事に活かせる実践的なプログラムの講義・現場実習により、就労に対する不安を解消し、保育施設への就職につなげます。

◆特色・効果

- 区内保育施設の保育人材を確保することで、児童の受入体制の強化が図られ、待機児童解消の効果が期待できます。
- こうとう若者・女性しごとセンター(※)の協力により、現場実習受入施設との連携やセミナー終了後の受講者の就職を後押しします。

※ 女性や若者などの就職支援、区内中小企業の雇用・人材確保を支援するため、区が平成27年10月に開設した施設。求職者には、職業紹介や就職に向けたセミナー、企業との交流会等、就職に関する幅広い支援を実施

◆実施概要

	講義	現場実習
日数	2日間程度	3日間程度
講師・場所	講師：区内保育士養成機関等	場所：区内認可保育所
内容	保育制度、新保育指針 地域との関わり、保護者との関わり 食と栄養、危機管理、職場の人間関係等	保育受入環境の整備 遊び、散歩、食事介助、おむつ交換 連絡帳記入等

◆他区の状況

23区中5区で実施



就職支援セミナーでの講義(イメージ)

長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育課

窓口：3階12番

電話：3647-9084

内線：2725

江東区の英語教育の充実

小学校等への外国人講師派遣時間数を拡充

「英語が好き！英語で話したい！」という児童の願いを実現！

事業の拡充

事業経費

2,470万円

◆事業内容

平成32年度から新学習指導要領が完全実施されることを踏まえ、区立小学校等への外国人講師の派遣時間数を拡充し、これからの時代を生きるこどもたちに「使える英語」を習得させます。

◆目的・効果

- 外国語に触れ、外国の文化や生活に慣れ親しむ機会を積極的につくるために外国人講師を派遣し、体験的な学習を行うことにより、国際社会に生きる人材を育成します。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催により、世界中からたくさんの方々が江東区に来ることは、江東区のこどもたちがコミュニケーション力を発揮する機会となります。
- 外国人講師とのコミュニケーションの機会を増やし、江東区のこどもたちが英語に慣れ親しむ機会を充実させるとともに、「英語スタンダード」(*)の定着を目指します。

※ 区立小・中学生等に確実に身に付けさせたい内容を明らかにし、その定着を目指して全校で取り組んでいく「こうとう学びスタンダード」の取り組みのひとつ。現在、「英語」のほか「学び方」「体力」「国語」「算数」「数学」に取り組んでいる

◆実績・背景

- 「こうとう学びスタンダード」定着度調査では、英語は高い正答率となっています。
(平成29年度:小学5年生91.0%、小学6年生84.2%)
- 新学習指導要領(平成32年度から実施)で英語教育の充実が盛り込まれ、小学5・6年生の英語の教科化(年間70時間)、小学3・4年生からの外国語活動(年間35時間)の導入が決定しています。

◆外国人講師派遣時間数(小学校等)

学年	派遣時間数(各学級・年間)	
	現行	拡充後
1・2年生	5時間	5時間(±0)
3・4年生	5時間	10時間(+5)
5・6年生	20時間	25時間(+5)
特別支援学級	なし	5時間(+5)

※ 中学校等の年間派遣時間数:各学級35時間、特別支援学級5時間



長期計画の該当項目：施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課：指導室
窓口：6階4番

電話：3647-9179
内線：3386

課題を抱えるこどもたちへのサポートを充実
スクールソーシャルワーカーを増員し、支援体制を強化
 学校と関係機関の更なる連携強化を図ります！

事業の拡充

事業経費

496万円

◆事業内容

スクールソーシャルワーカーを3名から4名に増員し、不登校や自身を取り巻く環境に課題を抱えるこどもたち・家庭に直接働きかけ、関係機関とのネットワークの構築を図り、こどもたちへのきめ細やかな支援を迅速に行います。

◆目的・効果

- こどもたちを取り巻く環境に働きかけ、いじめ・不登校・児童虐待など、健全育成上の課題に対応することを目的としています。
- 学校訪問・家庭訪問や関係機関との連携等を行い、こどもたちが日常生活の中で直面する様々な困難に対して、こどもの側に立って解決することができます。
- スクールソーシャルワーカーを増員することで、近年増加するケースや相談に迅速、丁寧に対応することができます。

◆実績・背景

- 区では平成26年度からスクールソーシャルワーカーを配置しています。
- スクールソーシャルワーカーの学校・家庭への訪問件数は、平成26年度は116件、平成27年度は258件、平成28年度は709件と、増加しています。

◆スクールソーシャルワーカーの概要

目的	こどもたちを取り巻く環境に働きかけ、いじめ・不登校・児童虐待など、健全育成上の課題に対応
主な活動	学校、家庭、関係機関相互のネットワークの構築と調整
効果	学校や生活・家庭環境といったこどもたちを取り巻く環境面からアプローチを図り、課題を解決
資格	社会福祉士、精神保健福祉士 等
配置	(現行) 3名配置 (拡充後) 4名配置(1名増員) 区内を4ブロックに分け、各ブロックに1名配置



長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校（園）づくりの推進

担当課：指導室
 窓口：6階4番

電話：3647-9179
 内線：3386

増加する児童への対応

新たに東川小学校を増築

集合住宅の建設に伴う児童の学習環境の確保に向けて！

新たな取組み

事業経費	事業名	30年度	総事業費
	東川小学校増築事業	5,119万円	10億8,050万円
	平久小学校増築事業	2億5,281万円	7億5,602万円
	扇橋小学校増築事業	2億6,230万円	6億3,483万円
	豊洲西小学校増築事業	8,363万円	21億5,383万円

◆事業内容

- 区内の集合住宅の建設に伴う児童の増加に対応するため、新たに東川小学校の校舎の増築計画を進め、平成33年4月からの供用開始を予定しています。
- 平久小学校・扇橋小学校は平成32年4月、豊洲西小学校は平成33年4月の供用開始(予定)とするため、増築計画を進めています。

◆目的

区内の集合住宅の建設が進むことから、児童の良好な学習環境の確保を図ります。

◆整備概要

学校名	所在地	スケジュール	
東川小学校	住吉一丁目12番2号	平成30年度 平成31～32年度 平成32年11月	実施設計 工事 竣工
平久小学校	木場一丁目2番2号	平成29年度 平成30～31年度 平成31年7月	実施設計 工事 竣工
扇橋小学校	石島18番5号	平成29年度 平成30～31年度 平成31年11月	実施設計 工事 竣工
豊洲西小学校	豊洲五丁目1番35号	平成28年度 平成30年度 平成31～32年度 平成33年3月	基本計画 実施設計 工事 竣工



東川小学校(現況)



豊洲西小学校(現況)

長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

担当課：学校施設課
窓口：6階8番

電話：3647-9173
内線：3271

こどもたちが健やかに成長できる環境を創り出す

江東区こども・子育て支援事業計画改定へ意向調査等を実施

対象年齢・内容を拡大し、ニーズをきめ細かく把握！

事業の拡充

事業経費

1,258万円

◆事業内容

子ども・子育て支援法に基づく、子育て支援の総合計画である「江東区こども・子育て支援事業計画」(※)の改定に向けた「区民意向調査」及び「子育て世帯の生活実態調査」を実施します。

※ 一人ひとりのこどもが地域社会の中で、健やかに成長していける環境を創り出すために必要な事業量やその確保方策を定めたもの
(例)区民意向調査等を踏まえた、各年度における保育施設や放課後事業を必要とする人数とその確保方策等

◆背景・目的

- 平成27年3月に策定した「江東区こども・子育て支援事業計画」が平成31年度で終了することから、平成30年度及び平成31年度の2か年で改定を進めます。
- 区民意向調査において区民のニーズを把握するとともに、こどもの貧困対策を計画に取り込むため、生活実態調査を合わせて実施し、地域のこども・子育てに関する総合的な支援施策の展開に必要な分析を行います。

◆スケジュール

年度	内容
平成30年度	改定に向けた区民意向調査・子育て世帯の生活実態調査の実施
平成31年度	計画改定作業



江東区こども・子育て支援事業計画(概要版)

◆効果・特色

- 区民意向調査の対象者を前回の乳幼児～小学生の保護者に加え、中・高校生本人も対象とすることで、きめ細かくニーズを把握し、よりの確に計画への反映を図ります。
- 子育て世帯の生活実態調査を行うことで、現状を踏まえたこどもの貧困対策の基礎資料とします。

◆計画策定時の区民意向調査概要(平成25年)

対象者	配布数	有効回収率	調査内容(抜粋)
就学前児童(0～5歳)の保護者	3,000部	61.0%	子育ての不安内容 保育施設の利用状況 等
小学生(1～3年生)の保護者	1,200部	68.8%	入学時の不安内容 放課後事業の利用状況 等

長期計画の該当項目：施策7 子育て家庭への支援

担当課：子育て支援課
窓口：3階15番

電話：3647-4407
内線：2710

3 健康・福祉

パラリンピックを機に障害への理解を促進！

障害者スポーツ・アート活動に関する経費を補助

障害者（児）施設等の活動を応援し、共生社会の実現を目指します

新たな取り組み

事業経費

480万円

◆事業内容

東京2020パラリンピック(※1)の気運醸成のため、区内の障害者（児）施設における障害者スポーツの体験等に関する経費や、パラリンピックを題材にしたアート活動(※2)に関する経費を補助します。



※1 区内の競技会場配置：8競技 7会場(平成30年1月現在、中央防波堤埋立地を含む)

※2 アート活動：障害のある方による絵画や写真、書道などの芸術活動

◆目的・効果

- 障害者（児）施設における東京2020パラリンピックの気運醸成に向け、障害者スポーツ体験事業やパラリンピックを題材としたアート活動を支援します。
- 東京2020パラリンピックの成功と障害者の社会参加、障害に対する理解の促進を図り、共生社会の実現を目指します。

◆概要

対象施設	○障害者通所支援施設 ○障害児通所支援施設 ○地域活動支援センター	 <p>車いすバスケットボール</p>
補助額	1施設あたり上限15万円	
開始予定	平成30年4月	
補助内容	障害者スポーツに関する経費 ○競技用具の購入にかかる費用 ○競技の指導や体験、試合、大会開催などにかかる費用 ○応援や観戦にかかる費用 等 パラリンピックを題材にしたアート活動に関する経費 ○芸術鑑賞や製作、展示にかかる費用 等	 <p>ボッチャ</p>

◆東京2020パラリンピックでの区内実施競技

競技	会場	競技	会場
車いすバスケットボール(決勝)	有明アリーナ	カヌー	海の森水上競技場
ボッチャ	有明体操競技場	ボート	
車いすテニス	有明テニスの森	アーチェリー	夢の島公園
5人制サッカー	青海アーバンスポーツ会場	パラ水泳	オリンピックアクアティクスセンター

長期計画の該当項目：施策27 自立と社会参加の促進

担当課：障害者支援課
窓 口：防災センター2階17番

電話：3647-4950
内線：2642

がんになっても安心して暮らすための相談支援体制を充実

がんの夜間相談窓口をマギーズ東京に開設

がん相談専門員による相談を実施

新たな取り組み

事業経費

28万円

◆事業内容

- がんの疑いがあると診断を受けた、治療を始めた、治療後等の患者やその家族が不安や疑問を相談できる窓口を「マギーズ東京」に設置します。
- 仕事を持ちながら治療や療養する患者やその家族にも対応できるように、夜間の相談窓口を月1回開設します。

◆目的

- がんになっても安心して暮らすための相談支援の充実を図ります。
- 患者や家族等が安心して療養生活を送るための支援を行います。

◆特色

- マギーズ東京のがん相談専門員(看護師等)による相談を行います。
- 働く世代の相談にも対応できるように、相談窓口を夜間(午後6時～9時)に開設します。
- がんの種類は問わず相談できます。
- 病院でも自宅でもない、第二の我が家のような場所で相談に応じます。

◆開始予定

平成30年4月

◆費用

無料

◆対象者

がん患者、その家族など

◆マギーズ東京

マギーズセンターは、がんに影響を受けるすべての人が気軽に訪れて、安心して話し、自分の力を取り戻せる場所として、約20年前にイギリスで生まれました。

マギーズ東京は、イギリスにあるマギーズセンターの正式な承認を得た、日本で初めての施設です。



内観

所在地	豊洲6-4-18
開設	平成28年10月10日



外観



長期計画の該当項目：施策22 健康づくりの推進

担当課：健康推進課
窓口：保健所9番

電話：3647-5889

入居前から入居後まで切れ目のないサポート

単身生活を希望している障害者への入居支援・定着支援

入居支援で共生社会の実現を目指します

事業の拡充

事業経費

949万円

◆事業内容

地域での単身生活を希望する障害者に対し、障害者が安心して自立した生活ができるよう入居支援員を配置し、民間賃貸住宅等への入居支援及び定着支援を行います。

◆目的

保証人がいない等の理由で、賃貸住宅への入居が困難な障害者や、在宅で自立した単身生活を希望している障害者等が安心して地域の中で生活できる共生社会の実現を目指します。

◆支援内容

利用対象者	<p>単身生活を希望している障害者（現にグループホーム入居者も含む） ただし、地域移行支援利用者（※）を除く</p> <p>※ 地域移行支援利用者：障害者支援施設等に入所している障害者、または精神科病院等に入院している精神障害者に対する住居確保の相談等、必要な支援を受けている方</p>
実施場所	<p>○地域活動支援センター（※） ウィルオアシス（住吉1丁目）</p> <p>○地域活動支援センター ロータス（大島5丁目）</p> <p>（※）地域活動支援センター：障害者等に、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進、その他の厚生労働省令で定める便宜を供与する通所施設</p>
開始予定	平成30年4月
支援内容	<p>入居支援（民間賃貸住宅、グループホームのサテライト型住居への入居）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家主、地域住民、町会等への障害の理解促進 ② 医療機関との連携 ③ 居住に関するトラブルへの24時間相談体制 ④ 障害者受け入れに理解のあるオーナーの物件情報の収集及び公開 <p>入居後の単身生活移行及び定着支援</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家事全般に対する支援、栄養管理指導 ② 清潔保持の確認及び指導 ③ 就労先や日中活動先との連絡調整 ④ 金銭管理指導 <p>在宅から民間賃貸住宅への入居支援</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保証人がいない等で入居が困難な障害者に対する支援 ② 家主等に対する相談・助言 ③ 入居後の緊急対応



長期計画の該当項目：施策27 自立と社会参加の促進

担当課：障害者支援課

電話：3647-4950

窓口：防災センター2階17番

内線：2643

いつまでも住み慣れた地域で暮らすために
住民主体で運営する「通いの場」を拡充
 地域の力“互助”を醸成します

事業の拡充

事業経費

674万円

◆事業内容

- 平成28年度に開始した介護予防・日常生活支援総合事業に、住民主体による通いの場である「通所型サービスB」を新たに加え、多様なサービスの充実を図ります。
- 今後、区内に21か所ある各長寿サポートセンターのエリアごとに1か所配置することを目指します。
- 通いの場を提供する団体に対して、運営費の補助を行います。

◆目的・効果

- 定期的な通いの場の創設により、利用者が介護予防に取り組むとともに、地域住民同士の“互助”が醸成され、その人らしい生活の継続を目指します。
- 住民主体の活動が広がり、高齢者等が「担い手」となることで、社会的な役割の獲得や自身の介護予防に繋がります。

◆通所型サービスB

住民ボランティア・住民主体の自主活動による通いの場

対象者	要支援1もしくは要支援2の認定を受けた方、または基本チェックリスト(※)該当者
提供主体	町会・自治会・NPO法人・一般社団法人・生活協同組合 等
活動内容	週1回3時間程度の軽い体操やレクリエーション、食事等を通した心身活性化の活動
自己負担	無料(ただし、食事代・活動費用は自己負担あり)

※ 基本チェックリスト：厚生労働省が定めている「1年間に転んだことがあるか」など、25の質問項目により生活機能の低下を判定するもの

◆運営費補助

条件	活動内容を満たす団体に対し、受け入れた人数に応じて補助	
対象者数	1～10人	11人以上
1回あたりの補助額	8,000円	12,000円



通所型サービスBでの介護予防活動

長期計画の該当項目：施策25 総合的な福祉の推進

担当課：長寿応援課
 窓口：3階8番

電話：3647-9468
 内線：2625

4 綠・環境

中央防波堤外側埋立処分場及び新海面処分場の延命化に寄与

不燃ごみの全量資源化を本格実施

持続可能な資源循環型地域社会の実現に取り組みます

事業の拡充

事業経費

1億1,684万円

◆事業内容

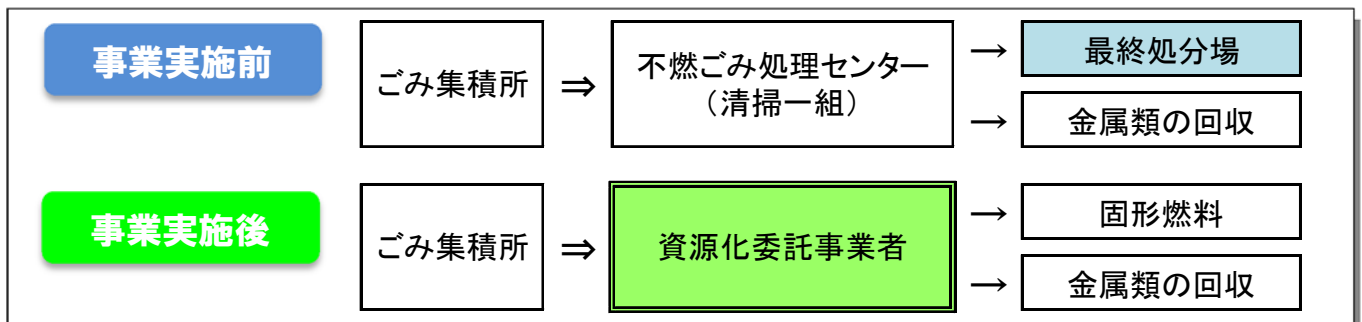
区が集積所から収集した不燃ごみのうち、鉄・アルミ等の金属は素材として回収し、金属以外(ガラス・陶磁器等)については固形燃料製造に用い、全てを資源化(※)します。

※ 蛍光管・乾電池やスプレー缶・ライター等の廃棄物は、別ルートで資源化

◆背景・目的

- 本区地先にあるごみの最終処分場(中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場)は、東京港最後の埋立処分場であり、今後、新たな埋立処分場の確保は極めて困難です。現在の処分場をより長く大切に使うことは、江東区民のみならず東京が抱える大きな課題です。
- 平成27年度から3年間、収集した不燃ごみの全量資源化を試行実施しました。
- 持続可能な資源循環型地域社会の形成に向け、ごみ減量の取り組みやごみの適正処理についての理解を引き続き促進していくとともに、埋立処分場の延命化に寄与し、同時に資源化率の向上を図ります。

◆不燃ごみの主な流れ



◆不燃ごみ収集量の推移

平成26年度	3,332t
平成27年度	3,143t
平成28年度	2,826t

◆他区の状況

全量資源化は、本区のみ



中央防波堤埋立地・新海面処分場

長期計画の該当項目：施策4 循環型社会の形成

担当課：清掃リサイクル課
窓 口：防災センター6階4番

電話：3647-9181
内線：6341

水銀灯からLEDへ！明るく安全・安心なまちづくり
街路灯、公園・児童遊園灯及び散歩道灯をLED化
 省エネルギー化により二酸化炭素・光熱費を大幅削減

新たな取組み

	事業名	30年度	総事業費
事業 経費	街路灯改修事業	5億6,542万円	45億9,829万円
	公園灯等改修事業	1億5,457万円	12億5,650万円
	水辺・潮風の散歩道灯改修事業	2,737万円	5億2,905万円

◆事業内容

街路灯・橋梁灯、公園・児童遊園及び遊び場、水辺・潮風の散歩道に設置してある水銀灯を平成30～37年度の8年間でLED灯へ改修します。

◆背景・目的

- 水銀に関する水俣条約(※)により、水銀灯が平成32年末以降、製造中止となることから、水銀灯の入手が不可能となり、不点灯箇所が発生する恐れがあります。
- LED化により、従来の約3分の1のエネルギーで同程度の照度が確保できるとともに、電気料金・二酸化炭素の大幅な削減を図ることができます。

※ 水銀および水銀を使用した製品の製造と輸出入を規制する国際条約

◆LED化計画の概要

	平成30年度	平成31～37年度	計
街路灯・橋梁灯	710基	4,970基	5,680基
公園など	150基	1,050基	1,200基
水辺・潮風の散歩道	100基	700基	800基



街路灯



公園灯



散歩道灯

長期計画の該当項目：施策3-1 便利で快適な道路・交通網の整備 等

担当課：施設保全課

電話：3642-5027

都市公園法改正により創設されたPark-PFIの活用を想定
PPPによる若洲公園の整備・管理運営手法を検討
 若洲公園の整備管理運営方針を策定

新たな取組み

事業経費

2,250万円

◆事業内容

老朽化した区立若洲公園(※1)の整備及び管理運営にあたり、都市公園法改正により創設された公募設置管理制度(Park-PFI)(※2)等を活用した手法を検討します。

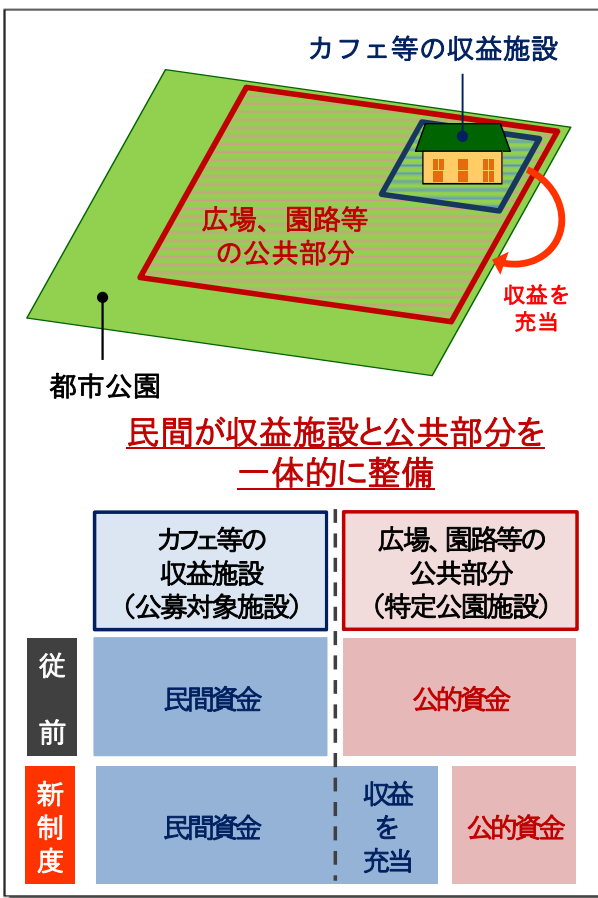
※1 区立若洲公園:平成18年に東京都港湾局より移管。風力発電施設が設置されている多目的広場やキャンプ場、サイクルセンターなどがある約9.3haの公園

※2 公募設置管理制度:飲食店等の施設を設置・管理する民間事業者を公募により選定する制度。事業者が設置した施設から得られる収益を公園整備に充当することを条件に建ぺい率の緩和等、特例措置の適用が可能

◆目的・効果

若洲公園の整備及び管理運営に、民間活力を導入することにより、民間のノウハウを活用した公園の魅力向上と財政負担の軽減を図ります。

◆公募設置管理制度 (Park-PFI)



◆想定スケジュール

年度	30	31	32	33~
調査委託	■			
整備管理運営方針策定		■		
事業者公募(準備含む)			■	
区整備部分設計委託			■	
区整備部分工事				■
民間事業者整備管理運営				■



長期計画の該当項目：施策1 水辺と緑のネットワークづくり

担当課：河川公園課
 窓口：防災センター6階2番

電話：3647-9426
 内線：6465

5 産業・生活

“スポーツと人情が熱いまち 江東区” を都営バスでアピール！

江東区PRラッピングバスを運行

江東区のロゴマークがまちを走る！

新たな取組み

事業経費

491万円

◆事業内容

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、区の「ロゴマーク」とブランドコンセプト「スポーツと人情が熱いまち 江東区」の普及のため、区内を中心に運行する都営バスに区のロゴマークを基調としたラッピングを施します。

◆目的・効果

- 区の主要な公共交通機関である都営バスをPRラッピングすることにより、区民にはさらに区への愛着を深めてもらうとともに、区外からの来訪者には区の魅力をアピールします。
- 区内にある江東営業所・深川営業所管内の路線は、1日あたりの利用者数が都内最多の系統を含んでいます。また、2営業所あわせて1日あたりの利用者数は計約13万人(※)にのぼることから、多くの方々に区をPRすることができます。 ※ 東京都交通局 平成28年度バス系統別収支状況より

◆運行台数（予定）

江東営業所及び深川営業所管内を運行する都営バス 5台

◆開始予定

平成30年10月



PRラッピングバス(イメージ)

◆ブランディング戦略の主な取組み

年度	活動内容
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロゴマークポスター、のぼり旗の庁舎及び区施設への掲出 ○ ロゴマークのホームページからのダウンロード開始 ○ ロゴマークピンバッジ等のPRグッズの作成・配布 ○ 第1回PR動画コンテストの開催
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区役所本庁舎等のロゴマーク壁面装飾等の実施 ○ 第2回PR動画コンテストの開催(平成30年2月入賞作品決定予定) ○ PR動画コンテストグランプリ作品の区内シネコンでのスクリーン広告放映 ○ ロゴマークを活用した区PR広告を公共交通機関(東京メロ・都営地下鉄)の車内広告に掲出(平成30年3月から1か月間を予定) (平成30年度は、都営地下鉄の車内つり革広告に1か月間掲出予定)



長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課：リビ・ック・パ・リン・ック開催準備課
窓口：4階1番

電話：3647-5513
内線：2117

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて
(仮称)競技体験キャラバン・大会500日前イベントの実施
 参加して・体験して・楽しんで盛り上げよう♪

新たな取組み

事業経費

2,684万円

◆事業内容

- 区内会場で実施が予定されている東京2020オリンピック・パラリンピック競技(※)の体験ができる「(仮称)競技体験キャラバン」を実施します。区主催イベント(区民まつり等)のほか、商業施設等と連携し、区内を巡回して展開していきます。
- 東京2020大会の気運醸成のため、大会500日前期間にアスリートのトークショーやコンサートライブなどのイベントを開催します。

※ 区内の競技会場配置 オリンピック:12競技 10会場、パラリンピック:8競技 7会場(平成30年1月現在、中央防波堤埋立地内を含む)

◆目的

- 「(仮称)競技体験キャラバン」を年間を通して巡回実施することで、多くの区民に区内で実施される競技の周知を図るとともに、オリンピック・パラリンピックの魅力を伝えます。
- 大会500日前を契機にイベントを開催することで、「スポーツと人情が熱いまち 江東区」を盛大にPRし、東京2020大会に向けて気運醸成を図ります。

◆「(仮称)競技体験キャラバン」概要

開催数	年間6回程度
場所	猿江恩賜公園(こどもまつり内) 木場公園(区民まつり内) 区内商業施設 等
体験競技(予定)	<オリンピック競技> アーチェリー・クライミング・BMX 等 <パラリンピック競技> 5人制サッカー・車椅子バスケット・ボッチャ 等

◆大会500日前イベント概要

日程	平成31年3月16日(土)
場所(予定)	ティアラこうとう
内容(予定)	○ アスリートによるトークショー ○ 気運を盛り上げるコンサートライブ 等



クライミング体験(イメージ)



ボッチャ体験(イメージ)



開幕1000日前イベントの様子
(平成29年10月28日開催)

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課：オリンピック・パラリンピック開催準備課
 窓口：4階1番

電話：3647-5513
 内線：2117

水彩都市・江東のシンボルスポーツ“カヌー”の競技力向上を目指して 東京2020パラリンピックに江東区出身のカヌー選手を輩出 カヌー競技でのメダル獲得へ

事業の拡充

事業経費

263万円

◆事業内容

- 東京2020パラリンピックの障害者カヌー競技(パラカヌー)への選手輩出に向け、外部コーチによる指導の拡充を図ります。
- これまで練習していた旧中川などの内部河川に加え、豊洲ぐるり公園乗船場周辺など、東京2020パラリンピックのカヌー競技会場近くでも練習できるよう、さらなる練習環境の充実を図ります。

◆目的・特色

- 東京2020パラリンピックにおいて、区内で実施されるカヌー競技に江東区出身の選手を輩出することを目指します。
- 水彩都市・江東を体現するスポーツである“カヌー”で、地元出身のパラリンピアンを輩出を目指す区市町村レベルの事業は、希少な挑戦です。
- 江東区のシンボルスポーツであるカヌーの振興や障害者スポーツへの区民の理解を深め、身近に感じてもらうとともに、地元出身選手の活躍に夢と希望を抱くことができます。
- 東京2020パラリンピックにおいて、カヌー競技での金メダル獲得を目指します。

◆指導回数

年180回(60回増)

◆練習場所

- 旧中川・川の駅(大島9丁目)
- 豊洲ぐるり公園乗船場周辺(豊洲5・6丁目など) 予定

◆主な大会実績

平成27年度(2015年度)事業開始

主な選手(敬称略)	主な成績	
瀬立 モニカ	リオデジャネイロパラリンピック	8位
	ワールドカップ2017 第3戦	優勝
	ワールドカップ2017 第2戦	準優勝
	世界パラカヌー選手権大会2017	8位
	世界パラカヌー選手権大会2016	10位
諏訪 正晃	世界パラカヌー選手権大会2017	準決勝進出
	世界パラカヌー選手権大会2016	7位



瀬立モニカ選手



諏訪正晃選手

長期計画の該当項目：施策18 地域で参加・還元できる生涯学習・スポーツの推進

担当課：スポーツ振興課
窓口：4階34番

電話：3647-4887
内線：3371

訪日外国人旅行者への情報発信を強化
訪日外国人旅行者向け観光情報冊子の充実
 タイ人観光客をターゲットにした観光PR

事業の拡充

事業経費

48万円

◆事業内容

- 近隣区(台東区、墨田区)と連携し、訪日外国人旅行者向けフリーマガジン(英語・中国語・韓国語併記)に江東区の観光特集を掲載します。
- 特集内容については、抜き刷り冊子(※)化するとともに、試行的に行っていた英語・タイ語版併記の冊子作成を本格実施し、訪日外国人旅行者に向けた情報発信を強化します。

※ 抜き刷り冊子：本誌とは別に、その部分だけを取り外し・切り離して使える冊子

◆目的・効果

- 台東区、墨田区と連携することで、ターゲットを定めた効率的かつ効果的な観光PRを行い、より回遊性の高い魅力的な観光情報を発信します。
- 東京東部の「下町」の魅力を多言語で紹介し、訪日外国人旅行者の誘致を図ります。
- 増加するタイ人観光客への観光PRを強化します。

◆フリーマガジン及び3区特集冊子

掲載時期	平成30年度内に1回 (フリーマガジン発行後、抜き刷り冊子を作成)
特集冊子 発行部数	○英・中・韓併記版 6,000部 ○英・タイ語併記版 8,000部 ※部数は3区合計
配付場所	○都内の主要な観光案内所 ○海外(主に東南アジア)の旅行会社 ○海外で実施される旅行博 等



区の観光情報を掲載した抜き刷り冊子
(イメージ)

◆背景

平成27年度から、訪日外国人旅行者向けフリーマガジンに、近隣区(台東区・墨田区)とともに江東区の観光情報について情報発信を行っています。

◆他の外国人向け事業

項目	内容	開始時期
江東お店の魅力発掘発信事業「ことみせ」	ことみせ事業の登録店について、外国人スタッフが取材・記事作成し、英語でホームページに掲載	平成29年4月

長期計画の該当項目：施策2-1 地域資源を活用した観光振興

担当課：文化観光課
 窓口：4階33番

電話：3647-3312
 内線：3365

区内の優れた製品や技術を保有する企業情報を発信

江東ブランドWebサイトの開設・クリエイターを派遣

江東区のものづくりの魅力を区内外へPR

新たな取組み

事業経費

846万円

◆事業内容

- 江東ブランド認定企業の情報発信のため、Webサイトを開設します。
- 江東ブランド認定企業のニーズに応じたデザイナー、プロデューサー等のクリエイターを派遣し、企業にアドバイスを行います。

◆目的・効果

- 江東区のものづくりの魅力を情報発信することにより、江東区のイメージアップと区内産業の活性化を図ります。
- Webサイトに江東ブランドの情報を集積し、最新の情報を発信することで、展示会出展やメディア掲載などによるPR効果を最大化し、企業のビジネスチャンスをサポートしていきます。
- 企業のニーズに応じたクリエイターを派遣し、企業の販路開拓等のために専門家がアドバイスを行うことで、PRの拡大や新たな製品・商品開発等につなげていきます。

◆開始予定

平成30年4月



江東ブランドWebサイト(イメージ)



クリエイター×職人・ものづくり企業

◆他区の実施状況

ブランド支援として足立区、葛飾区、墨田区で実施

◆江東ブランド推進事業

優れた製品・技術により革新的に事業展開の道を切り開いている企業を認定。さまざまなPR活動を通じて、直接の取引先のみならず、一般の消費者やバイヤー等にも広く認知してもらおうとともに、企業と区がともにイメージアップを図ることを目的としています。

事業開始	平成26年度
認定企業数	区内企業32社
主な活動	東京ビッグサイトで開催される各種展示会に出展するほか、企業間連携を促進するため、様々な交流活動を行っています

長期計画の該当項目：施策14 区内中小企業の育成

担当課：経済課

窓口：4階29番

電話：3647-2332

内線：2435

平成29年度協働事業提案制度 採択事業

地域の課題を区と協働で解決

身近な水辺を利用したセーリングの啓発による地域活性化&児童・生徒への学習・日本語支援事業

事業の拡充

事業経費

400万円

◆事業内容

市民活動団体(町会・自治会、NPO法人、ボランティア団体等)と区が協働して、地域課題の解決に取り組むため、協働事業提案制度で採択された事業を実施します。

◆目的

採択事業の実施を通じて、地域へ協働に対する理解を広め、市民活動団体の柔軟な発想や専門性を公共サービスに取り入れる仕組みを推進します。

◆採択事業

事業名	身近な水辺を利用したセーリングの啓発による地域活性化事業	日本語指導が必要な児童・生徒への学習・日本語支援事業
提案団体	NPO法人 江東区の水辺に親しむ会	NPO法人 外国語ボランティア・コートーク
目的	身近な水辺環境を活用したセーリングを通じ、こどもから高齢者、障害者がともに交流することで、地域の活性化を図ります。	日本語での学習に課題のある児童・生徒が学校生活をよりスムーズに送ることができるよう支援します。
主な内容	アクセスディンギー(※)による体験講習会等の開催により、世代間の交流や水辺の安全を学ぶ機会をつくれます。また、身近な水辺で開催することで、地域の活性化につなげます。 ※ バリアフリーをコンセプトに設計された安全で操作が簡単な小型ヨット	区立の小・中学校に通う日本語指導を必要とする児童・生徒(小学3年生～中学3年生)に対し、学習支援を中心とした指導を行います。また、必要に応じて、学校とのやりとりなどにおける保護者への支援も実施します。
担当課	地域振興課	指導室

◆過去3年間の採択事業(事業は採択された翌年度に実施)

採択年度	採択事業
平成26年度	○江東区内ことばの道案内作成・提供事業 ○江東区内「だれでもトイレ」の詳細情報の調査
平成27年度	○こうとう子育てメッセ ○コミュニティガーデンによる花とみどりに彩られたまちづくりの推進
平成28年度	○地域障害者交流事業 さるえ(2か年事業として採択)

長期計画の該当項目：施策17 コミュニティの活性化

担当課：地域振興課
窓口：4階26番

電話：3647-8570
内線：2443

基本構想の実現に向け、次なるステージへ！

新長期計画の策定準備を開始

区民・ジュニア・大学などが参画し「みんなで作る」新たな計画

新たな取り組み

事業経費

1,043万円

◆事業内容

次期長期計画(平成32～41年度)の策定に向け、人口推計等の基礎調査や区民参加型の会議等を実施します。

◆目的・背景

現行の江東区長期計画(後期)は、平成31年度で計画期間が終了することから、平成32年度からの10年を、基本構想に示された江東区の将来像「みんなで作る伝統、未来 水彩都市・江東」の実現に向けた次のステージととらえ、戦略的で実効性のある計画を策定します。

◆特色

- 社会・経済情勢の変化に対応した戦略的な計画
 - ・人口推計、現況と課題分析を踏まえ、区民ニーズの変化を捉えた計画を策定します。
- 行政マネジメントと連携した計画
 - ・行財政改革計画・行政評価の見直し、新公会計の活用により計画を着実に実行します。
- 区民とともに作る計画
 - ・区民会議やジュニア会議など、区民参加の機会を積極的に設け、区民の意見・アイデアを反映させた計画とします。
- 分かりやすい計画
 - ・区、区民の活動指針として、誰にでも分かりやすい計画にします。

◆策定スケジュール

年度	内容
平成30年度	基礎調査(人口推計、現況と課題の整理) 区民会議・ジュニア会議等の開催、大学連携の実施など
平成31年度	策定作業(パブリックコメント、区民説明会など)

◆計画期間

年度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
基本構想	H21.3策定(概ね20年を展望)												
長期計画	現・長期計画		新・長期計画 前期						後期				



区民会議(イメージ)

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(3) 自律的な区政基盤の確立

担当課：企画課
窓口：4階1番

電話：3647-9168
内線：2114

IV 資料編

1 歳入・歳出の内訳

【一般会計(歳入・歳出)対前年度比較】

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	増減率 (%)
歳 入	1,929億5,200万円	1,996億4,200万円	△66億9,000万円	△3.4
区税等(一般財源)	1,204億3,500万円	1,232億9,800万円	△28億6,300万円	△2.3
国・都支出金	474億5,200万円	465億1,700万円	9億3,500万円	2.0
繰 入 金	141億4,700万円	182億4,600万円	△40億9,900万円	△22.5
特 別 区 債	5億 800万円	14億7,400万円	△9億6,600万円	△65.5
そ の 他	104億1,000万円	101億 700万円	3億 300万円	3.0
歳 出	1,929億5,200万円	1,996億4,200万円	△66億9,000万円	△3.4
人 件 費	289億6,300万円	284億9,500万円	4億6,800万円	1.6
扶 助 費	661億 800万円	636億2,100万円	24億8,700万円	3.9
公 債 費	19億2,800万円	34億7,200万円	△15億4,400万円	△44.5
普通建設事業費	194億1,200万円	284億8,600万円	△90億7,400万円	△31.9
積 立 金	69億1,000万円	59億5,300万円	9億5,700万円	16.1
物件費・補助費等	516億7,000万円	504億 500万円	12億6,500万円	2.5
そ の 他	179億6,100万円	192億1,000万円	△12億4,900万円	△6.5

<歳入の特徴>

- ◇区税等(一般財源)は、対前年度比△2.3%の減。
(特別区交付金や地方消費税交付金の減などによる)
- ◇国・都支出金は、対前年度比2.0%の増。
(保育所等整備交付金の増などによる)
- ◇繰入金は、対前年度比△22.5%の減。
(公共施設建設基金の繰入金の減などによる)

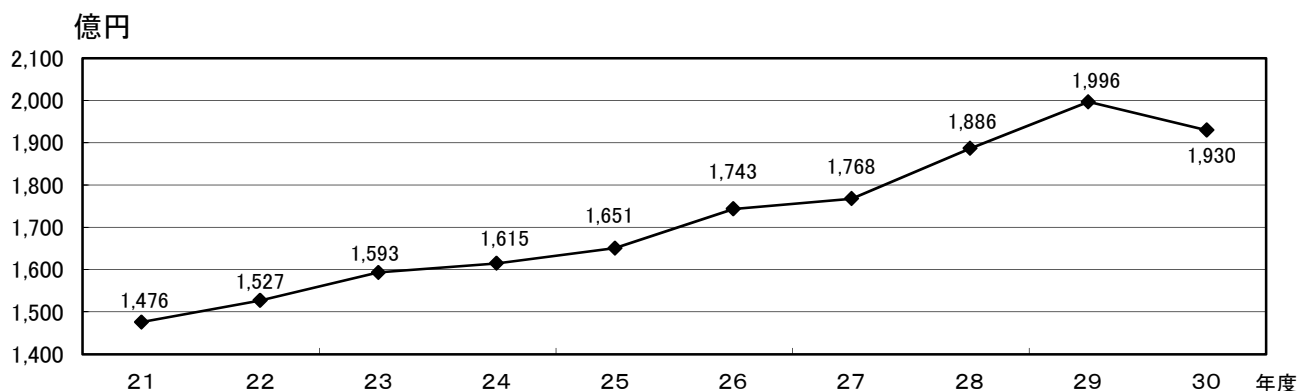
<歳出の特徴>

- ◇扶助費は、対前年度比3.9%の増。
(保育関連経費の増などによる)
- ◇普通建設事業費は、対前年度比△31.9%の減。
(有明西学園整備費の皆減などによる)
- ◇積立金は、対前年度比16.1%の増。
(東京オリンピック・パラリンピック基金積立金の増などによる)

2 各項目の推移

2-1 一般会計(予算規模)の推移

30年度 1,929億5,200万円



◇一般会計の予算規模は、前年度比△3.4%の減となった。

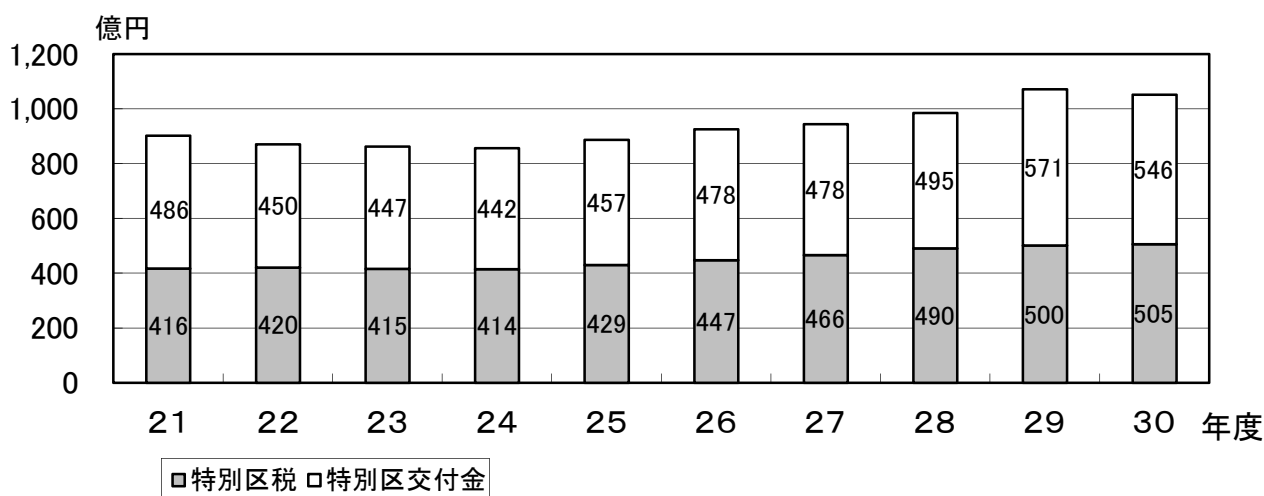
2-2 歳入(特別区税と特別区交付金)の推移

30年度 区税 505億4,100万円
交付金 546億2,600万円

(単位:億円/当初予算ベース)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
区税	416	420	415	414	429	447	466	490	500	505
交付金	486	450	447	442	457	478	478	495	571	546
合計	902	870	862	856	886	925	944	985	1,071	1,052
構成比	61.2	57.0	54.1	53.0	53.7	53.0	53.4	52.2	53.7	54.5

構成比=特別区税と特別区交付金の合計額が、歳入全体に占める割合(%)

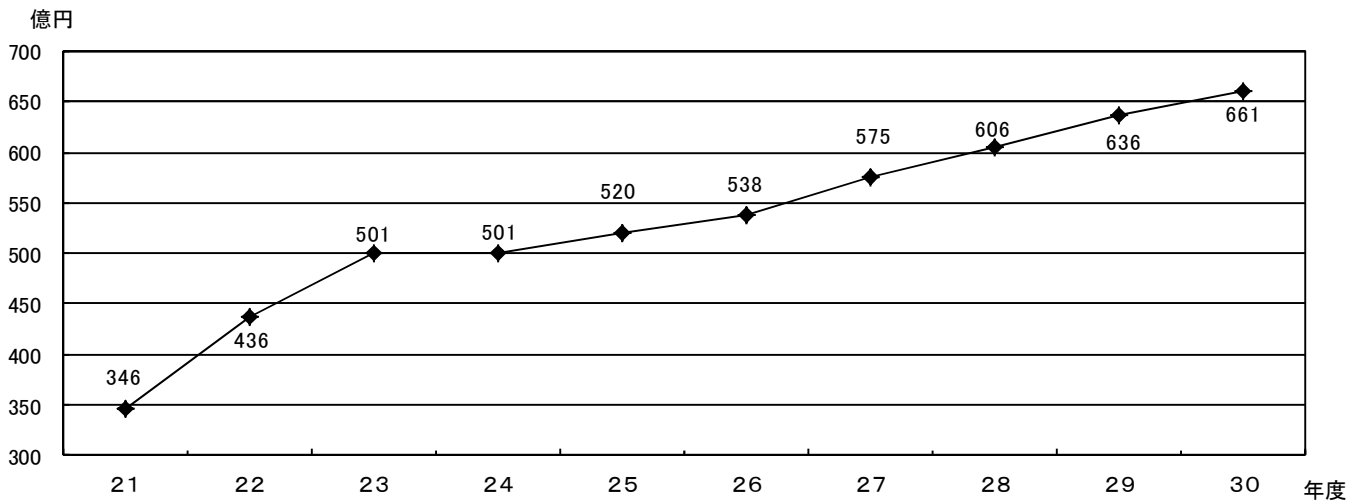


◇区の基幹的な歳入である特別区税と特別区交付金の合計額は、1,052億円。
特別区税が増となったものの、特別区交付金が減となった。繰入金等の減により歳入総額が減となったことから、一般会計に占める構成比は54.5%となった。

2-3 歳出の推移

(1) 扶助費(生活保護費や児童福祉費など)

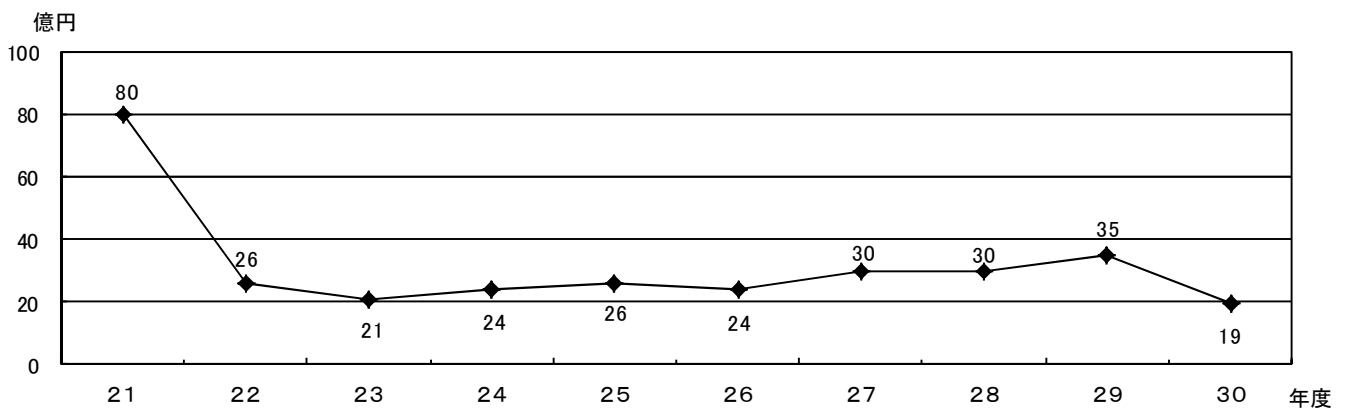
30年度 661億800万円



◇保育関連経費や障害福祉サービス費の増などにより、3.9%の増となった。

(2) 公債費

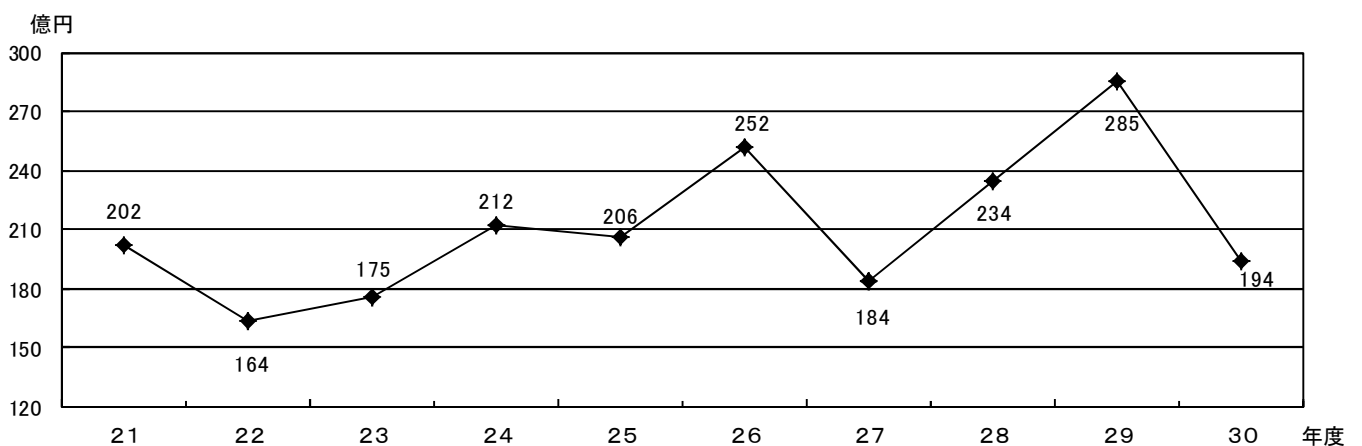
30年度 19億2,800万円



◇公債費は、償還元金の減により、△44.5%の減となった。

(3) 普通建設事業費

30年度 194億1,200万円



◇普通建設事業費は、有明西学園整備費の皆減などにより、△31.9%の減となった。

2-4 積立基金と特別区債の現在高の推移

30年度末 積立基金 973億 9,700万円
特別区債 288億 6,100万円

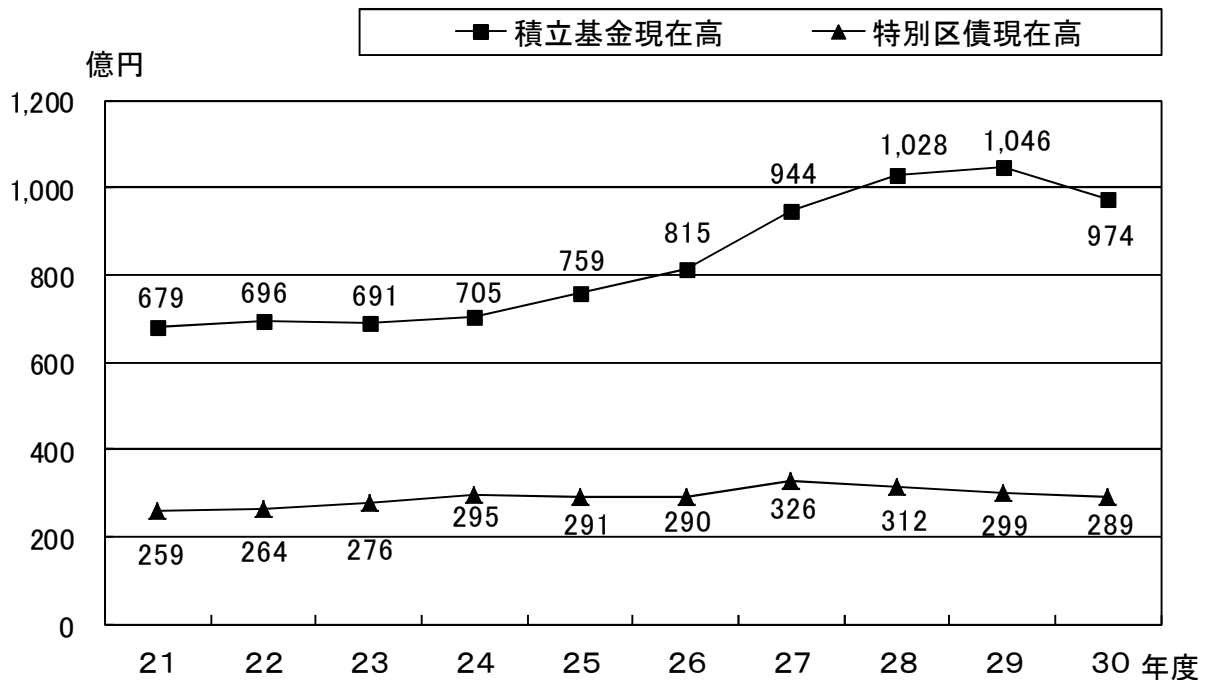
(単位:億円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
積立基金	679	696	691	705	759	815	944	1,028	1,046	974
特別区債	259	264	276	295	291	290	326	312	299	289

*平成21年度から平成28年度までの金額は、決算額。

*平成29・30年度は、年度末見込み額。

*上記積立基金には、介護保険関連基金は含まれていない。



◇平成30年度は、年度間の財源調整を図るため、財政調整基金69億円、公共施設の改修などに充てるため、公共施設建設基金23億円、小学校の改修工事などに充てるため、学校施設改築等基金36億円など、141億円の基金を活用する。

3 歳出の抑制

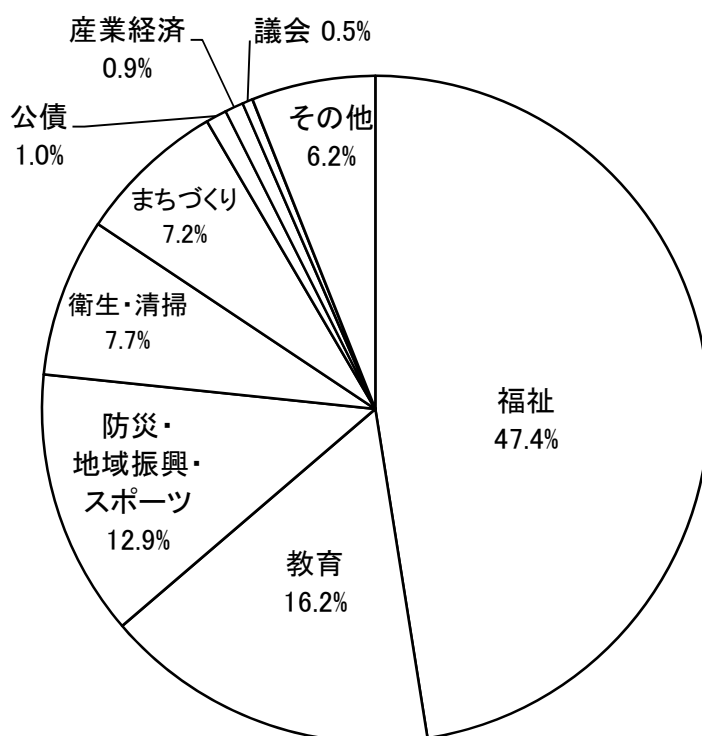
事業の見直し等による削減額 1億1,900万円

事業の見直しもしくは廃止した事業	1億1,900万円
小・中学校の用務の委託化	3,300万円
区立保育園の民営化	3,300万円
食事サービスの見直し	1,600万円
保養施設借上室数の見直し	800万円
区立保育園の給食調理業務を委託	400万円
ごみ収集運搬の見直し	400万円
その他の見直し及び廃止	2,100万円

4 区民一人あたりの平成30年度歳出予算額

【区民一人あたりの歳出予算額の内訳】

目 的	費 目	金 額	構成比
高齢者や子育て支援など福祉施策に	民生費	178,058 円	47.4%
学校教育や図書館などに	教育費	60,928 円	16.2%
防災対策や地域振興、スポーツ振興などに	総務費	48,635 円	12.9%
健康診断や母子保健、環境・清掃事業に	衛生費	28,796 円	7.7%
道路・公園の整備やまちづくりに	土木費	27,136 円	7.2%
特別区債の償還に	公債費	3,760 円	1.0%
商工業や観光の振興、消費者保護などに	産業経済費	3,584 円	0.9%
議会の運営のために	議会費	1,790 円	0.5%
その他	他会計への繰出金等	23,293 円	6.2%
合 計		375,980 円	



【参考】 *区民一人あたりの特別区民税：90,698円（平成30年度当初予算）

*人口：513,197人（平成30年1月1日現在、住民基本台帳調）



平成30年2月1日

江東区 政策経営部 広報広聴課 報道係

03-3647-2363 (直通)